



学校法人川副学園
博愛の里こども園

令和6年度
No.16

令和6年 7月12日
文責：五反田 康子

博愛の里だより

元気いっぱい やる気まんまん 笑顔にここにこ

本園のHPです。
カラー版で拡大してご覧ください。



月曜日の出張からの帰り道、車の外気温が 36.5℃～37.5℃を示していて目を疑いました。まさに体温越え。このところ会う人ごとの挨拶が「暑かですね～！」。先日静岡では予想最高気温が 40℃と報道されていました。「危険な」どころか「命に係わる災害級の」暑さです。どうなる日本。しかし子供たちは元気はつらつ、体力を持って余しています。日本気象協会のホームページには、「**子供は汗をかく能力が未発達のため、皮膚の血流量を増加させ、体の表面から周囲に熱を逃がすことで体温を調節しています。**子供は、大人よりも体重に対して体表面積が大きいため、周囲の環境の影響を受けやすく、熱しやすく冷めやすいという体格上の特徴があります。気温が皮膚温よりも低い場合には、体表面積の大きさを活かし、体の表面から熱を逃がすこと（熱放散）で大人と同じように深部体温を調整することができます。しかし、気温が皮膚温よりも高い場合や、地面からの照り返しなどの輻射熱が大きな場所（夏季の炎天下）では、周囲の環境の影響を受けて、**熱しやすい子どもの深部体温は大人よりも大きく上昇し、熱中症のリスクが高くなります。**」「特に**体温調節機能が十分に発達していない乳幼児は、大人よりも熱中症にかかりやすい**といわれていますので、より一層の熱中症予防・対策をおこなう必要があります。」とありました。加えて「湿度も高く、汗の蒸発が進まず更に放熱が小さく」なります。自分では予測できない子供たちだけに、周囲の大人が十分に気を付けてあげる必要があります。明日からの3連休、子どもの顔が赤く、大量に汗をかいている場合には深部体温が上昇していることが考えられるため、涼しい場所で休み、水分や塩分を補給するようにしてください。交通事故にも注意して、**楽しい3連休に！**



もも組さん

7日（日）は七夕祭りでした。微妙なお天気でしたが佐賀県の県鳥であるカササギたちの橋渡しで二人は無事出会えたでしょうか？ 保護鳥であるカササギ＝カチガラスの絶滅が危惧されている今、その貴重な生息地（天然記念物）である佐賀県としては、彦星・織姫のためにも一肌脱いで守っていきたいところですね。**笹の葉につるした願い事がかないますように…。**

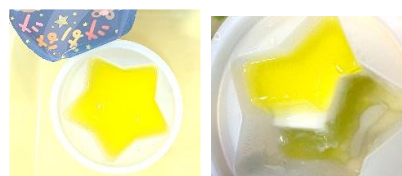


短冊の記入、ありがとうございました。

親子の会話がたくさんできましたか？ ↑ たんぼぼ組さん



←七夕給食は「お星さまコロッケ☆」❤️
「天の川スープ」に「七夕ゼリー」……
星形のゼリーは爽やかな三層構造でした。





↑ 4日(木)、フィリップ先生と一緒に英語で興じるゆり組さんたち。



↑ 1日(月)、ゆり組さんとたんぼぼ組さんでお話会がありました。どちらも、のめり込んで聞いていました。坂田先生ありがとうございます。

→ 園で育てた野菜をおやつにいただいているもも組さん。野菜が苦手な子もいて嫌がる姿もありましたが、「おいしかったね」と言って食べることができました。その後「寒天遊び」をして楽しみました。



この日はキュウリでした。



■ 1日(月)、不審者対応避難訓練を行いました。子供たちは趣旨を理解し、どのように避難すればいいか子供たち自身が考え、静かに移動、待機と避難をすることができていました。今回も不審者役を理事長にお願いし、職員は隠語や手順の確認、園児班と対応班の二手に分かれて研修しました。

■ Gタイムに関係したことのみを、以上児クラスの「7月第1週：保育士の反省・課題・記録」の中から抜粋してみました。まずは遊び方のツールを蓄えて…。これからの変化に大いに期待です。

【1日(月)】

- ・ Gタイムを始めた。まだ「〇〇してもいいの?」「〇〇に行ってもいい?」などを聞く子がいるが、好きな遊びを選んで遊ぶことで一人一人満足しているようだった。
- ・ Gタイムが始まり、いろいろな場面を想定しやってみる必要があると思った。

【2日(火)】

- ・ Gタイムが始まって2日目。保育者も子供もまだ慣れず、戸惑いや「～してもいい?」と許可を求める姿があるが、夏祭りのお店の準備が各部屋やホールで展開しており、自分がしたい遊びを選択し、行き来することができていた。
- ・ 夏祭りごっこのお店屋さんをしていると、それぞれで「楽しかった」という声が聞こえてきた。クラスを変えて遊ぶのも良いようだった。
- ・ Gタイムという言葉子供たちも親しみをもって使い、Gタイムを楽しみにしている。



【3日(水)】

- ・ 午前中はプールとホールで遊ぶコーナーに分かれて過ごした。プール遊びでは異年齢で楽しんだ。水の冷たさを全身で感じながら、ダイナミックに遊んだ。ホールでは、異年齢で遊びの幅が広がっているように感じた。
- ・ 午前中プールを行った。午後にするよりも時間が自由に使うことができて良かった。着替えも男女分かれて上手にできていた。
- ・ 自分たちで少しずつ考えて遊ぶ姿も見られるが、まだ何をしたらよいかわからずにいる子も多いため、子供たちがどんなことをしたいか聞いて一緒に考えることで遊びのきっかけを自分で考えることができるようになってほしい。

【4日(木)】

- ・ 夏祭りごっこの準備を各お店で展開し、作ったものを使って遊んだり、新たに商品を作る子が出たりと、いろいろな姿が見られた。
- ・ 帰りの会で一日の中で楽しかったことを聞くと、それぞれ考えて発表することができている。人前に立つ練習や言葉で思いを伝える練習にもなるので、続けていきたい。
- ・ 1週間を通してプール遊びを行い、自分で考えプールを行う子や、室内で遊ぶ子、それぞれに分かれて遊びを楽しむ姿が見られた。放送を聞いて動くことができていた。

【5日(金)】

- ・ 保育室では、七夕の絵本を見たり笹の葉に短冊や飾りを付けたりして、七夕に親しむことができていた。数人、他クラスでしたい遊びを見つけられずさまよっている子がいたため、遊びの選択肢を広げるなど、様子を見て関わっていく。
- ・ 夏祭りのお店の準備もある程度できたので、ごっこ遊びにつなげていく。プールもとても盛り上がった。
- ・ ソーラン節の場所移動の練習を行ったが、1. 2回すると自分の場所を覚え、移動することができていた。時間を分けて短時間で練習を行うことで集中してできている。

【1週間の反省および来週に向けて】

- ・ 今週からGタイムが始まり、夏祭りの遊びが盛り上がっていた。Gタイムに慣れ、子供たちが主体的に遊び込むことができるよう、職員間で情報共有しながら工夫していきたい。
- ・ Gタイムを通して、もっと子供たちが伸び伸びと遊べるように、環境を作っていく。
- ・ Gタイムが、「自由に移動し、自分で考え、遊ぶ時間」ということを理解し遊ぶ姿が見られるようになってきている。